

.....
おくちの
相談室
.....

【問】以前、歯石を取るために行った歯科では1回で終わったのですが、今回行った歯科では歯石を取るために何回も通院させられています。なぜですか？
（長崎市、40歳男性）

【答】歯石は歯垢が石灰化して硬くなったものです。一度付着すると歯ブラシで除去することはできません。表面がざらざらしているため、歯垢が付いたり着色したりしやすくなります。歯周病の原因は歯垢の中の細菌なので、歯石は歯周病の原因となります。従って、歯石の除去は歯周病の治療、予防をするために行います。

歯石には歯の表面の見える所に付着した「歯肉縁上歯石」と歯肉の下の方の見えない所に付着した「歯肉縁下歯石」があります。歯肉縁下歯石は歯周病が進行している人に多く見られます。歯肉縁上歯石だけを除去する場合は1、2回で除去することが可能です。

はじめ歯科クリニック院長

（長崎市諏訪町）

回答者
しらいし はじめ
白石 一



歯石除去で何度も通院、なぜ？

歯周病進むと回数は増加

しかし、歯周病が進行している歯肉縁下歯石の除去が必要な場合は、歯肉縁上歯石を除去した後には歯肉の再検査を行い、その後回数に分けて除去していくことになるので、通院回数は多くなります。歯石の付着している量や歯周病の進行の程度によっても通院回数は異なります。

歯周病の治療で歯肉が安定した状態になると、その後は定期的なメンテナンスへと移行します。むし歯などの治療がなければ基本的に数カ月毎に1度のクリーニングや歯肉縁上歯石の除去で終了します。しかし、メンテナンスの中断などで歯周病が再発、悪化した場合は再度、歯肉縁下歯石の除去が必要となり、複数回通院していただくこともあります。

歯周病は初期の段階では自覚できる症状は出にくく、ある程度進行してから歯肉が腫れたり、物をかむ時に痛みを感じたりします。自覚症状がない方は何回も通院するのに不満を感じることもあるでしょう。しかし、歯周病はしっかりと治療してメンテナンスを行うことで進行を防げる疾患です。しばらく歯科に通院していない人は、お近くの歯科医院を受診してみることをお勧めします。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。